選ばれる会社になる

# 働き方改革のポイント―5

いろどり社会保険労務士事務所
代表　内川真彩美 氏

## 今や業務改善に不可欠「属人化」など問題の解決へ

### システムの導入

前回は、年次有給休暇の取得率を上げるための手法を紹介しました。しかし、誰かが休むと仕事が回らない環境では取得は難しいため、並行して「業務改善」を進めることも必要です。そこで今回は、業務改善の方法の1つでもある「システム導入」のポイントを、8年半IT企業に勤務していた経験も踏まえて解説します。

システム導入のメリットの1つ目は、同じ情報を「誰もが」「どこからでも」「リアルタイムで」確認できることです。コミュニケーションが速くなり、属人化も防げるため、業務スピードは上がります。例えば、年次有給休暇の管理をシステム化した企業があります。従業員が年次有給休暇残日数を自分でリアルタイムで確認できるようになったため、人事部では従業員からの残日数問い合わせ業務がゼロになりました。

メリットの2つ目は、情報の分析がしやすくなることです。例えば多くの勤怠システムでは、自動で残業時間や休暇取得状況が取得できます。そのため毎月役員会議で残業時間の報告が必要な企業では、システムの分析ページがそのまま報告資料に使えるので、資料作成の手間がなくなりました。また、個人や部署ごとの情報も簡単に出せるため、社内の問題も見つけやすくなります。

メリットの3つ目は、繰り返しの作業が自動化できることです。例えば当事務所では、毎月同じ内容の請求書であれば自動作成されるシステムを使っています。設定日になると請求書が何枚も完成しているので、月末業務が非常に楽になりました。

このように、システムの利用は業務改善との相性が非常に良いです。採用難・人材不足の昨今では、業務をシステムに移行し効率化することが必須といっても過言ではないでしょう。

### 導入する際のポイント

ここからは、システムを導入する場合に気を付けるべきことを、3つ紹介します。

1つ目は、どの問題を解決したいのかを明確にすることです。システム導入は「目的」ではなく、社内の問題を解決するための「手段」です。システム導入の目的を説明できるようにしておきましょう。

2つ目は、必須機能だけでなく妥協できる機能を考えることです。システムを使う場面は会社によって違うため、既存のシステムでは自社ニーズが完璧に網羅されているものはないと思った方が良いです。自社ニーズをすべて網羅したシステムを求めるなら、既存システムではなく一から作ってもらうしか選択肢はありません。既存システムから選ぶなら、機能の取捨選択をしないといつになっても導入することはできません。

3つ目は、トライアル期間で使いやすさを確認することです。いくら便利な機能でも、画面が見にくかったり、動きが遅かったり、使いにくいものでは定着しません。多くのシステムではトライアル期間が設けられていますので、必ずその期間にシステムを使い倒しましょう。このとき、実際にそのシステムを利用する人にも使ってもらうことがポイントです。

また、どんなシステムでも初めから使いこなせる人はいません。例えば、皆さんもスマホを新しくしたときに、初日ですべての機能を使いこなせるわけではなく、使いながら次第に機能を覚えていくわけです。システムもそれと同じで、まずは一定期間使ってみることを推奨します。

とはいえ、従業員のITレベルに差があったり、仕事の仕方を変えることに抵抗を持つ方がいるような場合、いくら良いシステムを導入したとしても定着しないこともあります。そこで次回は、導入したシステムを定着させるためのポイントを紹介します。（月1回掲載）

**読者からのご相談受付中！**

システム導入や業務改善方法、働き方改革でお悩みの点など、当事務所ホームページ（https://www.irodori-sr.com）よりお問い合わせください。

いろどり社会保険労務士事務所　代表
内川 真彩美 氏

特定社会保険労務士。約8年半、IT企業でシステム開発に従事した後、社会保険労務士として開業。現在は前職の経験を活かしながら、企業の制度設計や働きやすい組織作りの支援を行っている。企業ウェブサイトや雑誌などへの執筆、講演多数。

---

バックナンバーCHECK　過去の記事から注目の内容をピックアップ　【2013年11月25日付1面】

# 軽減税率の功罪把握を

額票＝方式）。これ自体は現在の請求書の様式変更で済むとみられるが、手書きの請求書などでは集計の手間が増えることになる。

また、インボイスを発行できない零細な免税業者が単数から複数税率に転換した例が見当たらず、実際トラブルなどの比較がしにくい。IMF（国際通貨基金）の調査では、1990年以前に付加価値税を導入した48か国中、複数税率

## 東京都中央卸売市場

| 品目 | 数量（トン、%） 東京市場計 | 前年同月比 | 前旬比 | 価格（キロ／円、%） 東京市場計 | 前年同月比 | 前旬比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 野菜総数 | 41,511 | 92 | 108 | 296 | 125 | 92 |
| ダイコン | 4,074 | 85 | 125 | 111 | 146 | 74 |
| ニンジン | 2,491 | 91 | 109 | 214 | 126 | 96 |
| ハクサイ | 5,201 | 93 | 106 | 89 | 139 | 69 |

| 品目 | 数量（トン、%） 東京市場計 | 前年同月比 | 前旬比 | 価格（キロ／円、%） 東京市場計 | 前年同月比 | 前旬比 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ナガイモ | 141 | 59 | 80 | 536 | 177 | 99 |
| ニンニク | 63 | 93 | 117 | 1,028 | 111 | 100 |
| ネショウガ | 77 | 101 | 101 | 557 | 107 | 100 |
| エノキタケ | 450 | 98 | 105 | 334 | 115 | 110 |